

## (2) 合乳細菌数検査成績

良質な生乳を生産することによる酪農経営の安定化および消費の拡大を図るため、衛生的に優れた品質の生乳確保を期して細菌数検査を実施しました。

### ア. 方 法

#### (ア) 試 料

生乳取引の行われる工場において、C SおよびB Cから搬入される合乳を対象としました。

#### (イ) 検査回数

旬間 1 回以上

#### (ウ) 試料採取箇所および方法

C SおよびB Cを経由した試料はタンクローリーから採取しました。

#### (I) 検査方法

蛍光光学式細菌数測定機によりました。

### イ. 結 果

表 5 に月別および地区別の生菌数検査法による細菌数検査成績を示し、表 6 に地区別成績の内訳を示しました。検査延検体数は 69,414 検体で、対象検査乳量は 747,606.4 t でした。

細菌数 10 万/m を超えるものが 22 台、201.7 t (前年度 20 台、195.3 t) でした。それより低いレベルの 3 万/m 以下の比率は 99.7% で前年度と同ポイント、1 万/m 以下でも 98.6% で前年度より 0.2 ポイント低下しました。

月別 1 万/m 以下の変動では最高値は 10 月の 99.0%、最低値は 8 月の 97.7% で、その範囲は 1.3 ポイントであり安定して高いレベルを維持していました。

図 2 には細菌数 3 万/m 以下および 1 万/m 以下の月別変動を示しました。